第３回

「中国はどのように電気自動車（EV）大国になったか　―イノベーションの視点から考える」

令和６年１１月２日(土)

講師：立正大学　経済学部　教授　苑（えん）　志佳（しか）　氏

中国の電気自動車(ＥＶ)産業の発展は戦後の日本における自動車(ガソリンエンジン)産業の発展に似ていると思われます。国内市場の育成と技術革新により競争力をつけ、世界のトップレベルまで成長したが、グローバル化が進む中、技術だけでなく社会、産業、情報、生活、人の意識といった広範囲の革新(イノベーション)でガソリンエンジンからＥＶへ市場を転換させ、国内から海外へ進出したということだが、特に人の意識の革新が大きいように思います。

魅力的な創業者の人たちの意識改革

生活を良くしようとする人たちの意識改革

そこには「もの作り」に携わる人たちのエネルギーのようなものを感じます。

日本経済の衰退の一因には「もの作り」の意識の衰退があるのではと考えさせられました。

○参加者の感想・意見について（主なもの）

・中国の EV、テスラに興味があったのでわかりやすく楽しかった。又、中国の別のバイタリティを知りたいです。ガンバレ日本。中国も、テスラも！！ガンバレ

・中国メーカー成長の原因など現在の様子がよくわかりました。以前新聞で中国 EV 安価でこのような車が入ってくるとよいなと考えたことがありました。ぜひこのような安価な車が普及してほしいなと思います。

・毎回勉強になることばかり、今後とも継続して実施していただきたいと思います。